



柳田邦男の

深呼吸

〔震災遺構と語りべ〕

100年防災になぐ拠点に

交流会は自問自答され、参加者たちはそれぞれ震災の悲しみの中で、これからどう生き、活動したら意味を具いたすべきかについて、重要

な問いを投げたようだった。そのことは、一人一人が発言した言葉が示している。

妻と妻の両親を失った男性——「震災語りべに加わって、体験を語るようになったら、少し楽になりました。やはりひとりで考えているだけではダメだと気づきました」

夫を亡くした女性——「心の中にホッカリ開いた穴は塞がることがなくて、これからは語りべとして、どうすれば人のいのちを救えるかという話を語るようになったらいいなと思います」

大川小学校51名の娘さんを中心とした母親——「何とかが小学校の校舎を建て替えて、このように三三と記さないよう、語り継ぎたい」



岡土中学校の校舎は解体されるが、地帯が残した年後半頃部分を中心とした建築の設計は保存される。昨年1月、川口敏之

「公衆は学校の近くで解体で見つかったのです。津波が来た時、校舎に逃げ込もうと必死に走ったのだと思うので、公衆にとってゴールだった校舎を遺構として残してほしいと宮崎市に要望したのですが、ダメでした」

「岡土の記憶」の題意の視念には、犠牲になった中

学若頂人の名を刻んだ

隣碑がある。「一人一人の名前をなぞってください」と丹野さんは言う。丹野さんの言葉は謙然だ。

「これはいのちを語る最前線です。私たちは記憶の守人です。心のケアで大切なことは、記憶を向き合い乗り越えていくことです。記憶と向き合った

「公衆は学校の近くで解体で見つかったのです。津波が来た時、校舎に逃げ込もうと必死に走ったのだと思うので、公衆にとってゴールだった校舎を遺構として残してほしいと宮崎市に要望したのですが、ダメでした」

「岡土の記憶」の題意の視念には、犠牲になった中

学若頂人の名を刻んだ

隣碑がある。「一人一人の名前をなぞってください」と丹野さんは言う。丹野さんの言葉は謙然だ。

「これはいのちを語る最前線です。私たちは記憶の守人です。心のケアで大切なことは、記憶を向き合い乗り越えていくことです。記憶と向き合った

この会が開かれたのは、荒れたる更地と化した岡土地区の真ん中に、語り伝える場として建てられた「岡土の記憶」と称するアレーナの建屋だった。近くにある岡土中学校の3階建ての校舎は、3月来には解体を終える予定だ。活動の中心になっている丹野

「公衆は学校の近くで解体で見つかったのです。津波が来た時、校舎に逃げ込もうと必死に走ったのだと思うので、公衆にとってゴールだった校舎を遺構として残してほしいと宮崎市に要望したのですが、ダメでした」

「岡土の記憶」の題意の視念には、犠牲になった中

学若頂人の名を刻んだ

隣碑がある。「一人一人の名前をなぞってください」と丹野さんは言う。丹野さんの言葉は謙然だ。

「これはいのちを語る最前線です。私たちは記憶の守人です。心のケアで大切なことは、記憶を向き合い乗り越えていくことです。記憶と向き合った

この会が開かれたのは、荒れたる更地と化した岡土地区の真ん中に、語り伝える場として建てられた「岡土の記憶」と称するアレーナの建屋だった。近くにある岡土中学校の3階建ての校舎は、3月来には解体を終える予定だ。活動の中心になっている丹野

「公衆は学校の近くで解体で見つかったのです。津波が来た時、校舎に逃げ込もうと必死に走ったのだと思うので、公衆にとってゴールだった校舎を遺構として残してほしいと宮崎市に要望したのですが、ダメでした」

「公衆は学校の近くで解体で見つかったのです。津波が来た時、校舎に逃げ込もうと必死に走ったのだと思うので、公衆にとってゴールだった校舎を遺構として残してほしいと宮崎市に要望したのですが、ダメでした」

「岡土の記憶」の題意の視念には、犠牲になった中

学若頂人の名を刻んだ

隣碑がある。「一人一人の名前をなぞってください」と丹野さんは言う。丹野さんの言葉は謙然だ。

「これはいのちを語る最前線です。私たちは記憶の守人です。心のケアで大切なことは、記憶を向き合い乗り越えていくことです。記憶と向き合った

この会が開かれたのは、荒れたる更地と化した岡土地区の真ん中に、語り伝える場として建てられた「岡土の記憶」と称するアレーナの建屋だった。近くにある岡土中学校の3階建ての校舎は、3月来には解体を終える予定だ。活動の中心になっている丹野

「公衆は学校の近くで解体で見つかったのです。津波が来た時、校舎に逃げ込もうと必死に走ったのだと思うので、公衆にとってゴールだった校舎を遺構として残してほしいと宮崎市に要望したのですが、ダメでした」